

佐世保工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0045		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	「時代を読み解く上級日本語 (第2版)」					
担当教員	堀上 志都子					
到達目標						
1. 中級後期～上級段階の文型・語句を習得する。 2. 長文(新聞記事等)の内容を的確に把握できるようになる。 3. 長文の内容について教師の質問に答えられるようになる。 4. 長文の内容に関連して自分の考えが記述できるようになる。 5. 長文の内容を自国の状況と比較して説明できるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1(達成目標1)	本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できる。		本文中の文型・語句を使って、似た文章を作ることができる。		本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できない。	
評価項目2(達成目標2, 3)	本文の内容を的確に把握し、教師の質問にキーワードを使って答えることができる。		本文の内容を把握し、教師の質問の箇所を理解し、答えることができる。		本文の内容をが分からず、教師の質問に答えることができない。	
評価項目3(達成目標4, 5)	本文の内容を自国の状況と比較して説明でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本社会の現状について書かれた文章を題材として、日本語の語句の意味・用法を学習するとともに、読解力・発話力・作文力の向上を図る。					
授業の進め方・方法	予備知識：日本語中級前期までの文型・語句の知識 講義室： 授業形式：演習形式 学生が用意するもの：辞書、ノート、テキスト					
注意点	評価方法：出席・授業態度(20%)、中間・期末試験(40%)、発表・レポート等(40%)で評価し、60点以上を合格とする。 自己学習の指針：テキストを中心として毎回授業の予習・復習に取り組み、積極的に質問してください。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・1課		現代日本女性の仕事環境について考える。	
		2週	1課 働く女性、「なでしこ」に続け		〃	
		3週	4課 一人暮らしを心配する、学生の親たち		親離れ、子離れについて考える。	
		4週	〃		〃	
		5週	5課 生活音トラブル		母国と日本の生活音トラブルについて考える。	
		6週	〃		〃	
		7週	総合練習		復習と作文(長文)	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	6課 なぜ少子化が社会問題なのか		少子化についてその問題点と解決策を考える。	
		10週	〃		〃	
		11週	8課 「買い物難民」を救え		買い物難民について、今住んでいる町の状況で考える。	
		12週	〃		〃	
		13週	11課 「教育危機」		母国と日本の教育について考える。	
		14週	総合練習		復習と作文(長文)	
		15週	期末試験			
		16週				
後期	3rdQ	1週	13課 学歴とは別のものさしで		母国と日本での「学歴」の重要性について考える。	
		2週	〃		〃	
		3週	17課 在宅勤務		職場の新しい形について考える。	
		4週	〃		〃	
		5週	18課 父親の育児参加		母国と日本の「父親の育児参加」について考える。	
		6週	〃		〃	
		7週	総合練習		復習と作文(長文)	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	20課 インターネットの隆盛		インターネットの問題点について考える。	
		10週	〃		〃	
		11週	21課 ネット依存と人間関係		自身のネット依存度について考える。	
		12週	〃		〃	
		13週	22課 ロボットの活用		医療、介護用ロボットの実用化について考える。	
		14週	総合練習		復習と作文(長文)	

		15週	期末試験	
		16週		
評価割合				
	出席	中間・期末試験	発表・レポート等	合計
総合評価割合	20	40	40	100
基礎的能力	0	40	40	80
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	20